

### 学生からのコメント

栗原研究室所属、学部4年の野村次郎です。現在週一回のセミナーを通じて「代数的整数論」の勉強をしています。

私はそれほど数学に関して順風満帆な人生を送ってきたわけではなく、小学校の算数に始まり今日に至るまで、数学はわたくしの目の前に立ちだかる巨大な壁でありました。しかしながら、それ故に、私は数学の問題を解いた時の喜びを忘れません。思えば、喜びと困難とは表裏一体のもので、喜びがあるところに困難があり、困難のあるところに喜びがあるのです。私が大学入学までもっとも大きな困難を感じたのがいわゆる整数問題でした。ある条件を満たす整数を求めるなどという問題がとにかく苦手だったわけです。だからこそ私は今ここにいる！困難の先に待つ喜びと、さらにその先に待っているであろう美しき世界を夢見ているのであります。

さて、あなたにとって数学が困難な学問であるのならそれはまさしく天啓。それはあなたの行くべき道を指し示しているのです。脳みそで汗をかき、どこまでも基礎的なところに戻りながら目の前の困難を打ち砕き、次なる困難に向



かって「やあやあ我こそは！」と立ち向かう営みは、必ずやあなたの人生の糧となるでしょう。そしてあなたは喜びという言葉の本当の意味を知るので。

有史以来人類とともに数学があったのは、その実用性のみが理由ではないはず。長い歴史を持つものには必ず魂と美が宿るのです。悲しいかな私はまだその一端にも触れてはいませんが、越えるべき壁としての数学の先には数学の本当の美しい姿がきっと待っています。なんかこう・・・数理科学科に来たくなったでしょ？

### 教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐり合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学

を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。

栗原 将人